

物価高騰に係る価格転嫁・賃上げに係る 付帯調査
令和7年 1月～3月期 景気動向調査 付帯調査 報告書

市内企業の物価高騰や賃上げについての市内企業の状況を把握することを目的に、付帯調査「物価高騰に係る価格転嫁・賃上げに係る 付帯調査」を実施した。

【付帯調査結果】

1. 貴社の状況についてお聞かせください。

	5人以下	6～10人	11～20人	21～50人	51～100人	101～300人	301人以上	合計
常用従業員数	21	20	13	12	6	4	0	76

2. 貴社の諸物高騰等に係る価格転嫁の状況についてお聞かせください。

販売先への価格転嫁要望

仕入先からの価格転嫁要望	回答数	価格転嫁を要望し、販売先も価格転嫁に対応	価格転嫁を要望しているが対応は保留中	価格転嫁の要望をしていない	主にBtoC（一般顧客）事業（値上げした）	主にBtoC（一般顧客）事業（価格据え置）	クロス合計
			33	6	14	12	7
価格転嫁の要望があり、価格転嫁に対応した	61	31	5	8	8	6	58
価格転嫁の要望があるが対応は保留中	3	1	1	1			3
価格転嫁の要望はなかった	7	1		5	1		7
その他（仕入の無い業種）	1						0
クロス合計	72	33	6	14	9	6	68

仕入先への課題と対応策

製造業	<ul style="list-style-type: none"> ・必ず起りえる事として、慎重に対応している ・包装資材・燃料等 ・大手は自分基準で押してくる
建設業	<ul style="list-style-type: none"> ・課題：利益幅が少なくなっている。 対応策：値引き率を下げる ・役所単価が追いついていない ・あった場合は対応せざるを得ないと考えます。要望が無くても実際は転嫁されていると思います
卸売業	<ul style="list-style-type: none"> ・運送が上がっているため、4月より商品仕入れに加算される ・販売先への価格転嫁 ・世の中値上げラッシュ、割り切って値上げを実施してます ・今後も価格転嫁要望があることを見越し、代用商品を準備しておく
小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・要望どおりにしている ・原材料費・配送費の値上げと言われるとそれまでです
サービス業	<ul style="list-style-type: none"> ・代替の出来ない仕入れ先に関しては値上げには応じています ・経費が増えるが宿泊料金に転嫁がなかなか難しい ・受け身の立場で承諾する以外なし ・為替により円安
水産加工業	<ul style="list-style-type: none"> ・相見積り

売上先への課題と対応策

製造業	<ul style="list-style-type: none"> ・見積書に必ず記載（仕入価格変動の場合は別途記載） ・納入先への価格転嫁が順調ではない（見積もり等の時期のずれがあることから） ・3か月前に要望しないと受け入れてもらえない。かなり計画的に値上げを企画しないといけない ・包装資材・燃料等 ・各社新年度（4月）になったら再要望してみるが動き出すか不明
建設業	<ul style="list-style-type: none"> ・価格の高騰 ・販売先への見積提出にあたっては、見積有効期限を明確にしたうえで、資材や下請価格の市場動向を、密に情報交換している ・施工中の案件での転嫁要望は困難です
卸売業	<ul style="list-style-type: none"> ・商品価格の値上げの話になると、取引を考えると話される ・他社との競合 ・他社の見積に負けたときは仕方ありません ・価格転嫁すると販売先によっては、買い控えが起こるため、価格を据え置きながら、販売数量を上げることも必要
小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・値上げどおりには、いかない。利益は、減少している ・メーカー出荷の値上げなので、理解してもらっていると思う
サービス業	<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊業なので、お客様とその都度、予算交渉している ・タクシー料金は国の認可が必要。単独では不可能 ・課題：運賃改定による利用客離れの懸念
水産加工業	<ul style="list-style-type: none"> ・同業他社の値上げ状況が売り上げに影響するので気になる ・値上げのエビデンスをしっかりと理解してもらう

3. 貴社の賃上げの状況についてお聞かせください。

・従業員の賃上げについて

価格転嫁を進めているため賃上げを実施（予定）	価格転嫁できていないが賃上げを実施（予定）	現時点では未定、もしくは賃上げ見送り	時短での人件費調整や、人員削減を考えている
22	13	30	5

賃上げを（予定）している理由

※複数回答

賃上率の見直し	賃上げを（予定）している理由					クロス合計
	回答数	人材の確保・採用	世間相場（同業他社等）への対応	物価上昇への対応	その他	
	回答数	30	17	22	0	69
0%以上5%未満	27	19	8	12		39
5%以上10%未満	12	8	7	7		22
10%以上20%未満	1	1				1
20%以上	0					0
現時点では未定	6	1		1		2
クロス合計	46	29	15	20	0	64

賃上げ実施への課題と対応策

製造業	<ul style="list-style-type: none"> ・業績向上が見られないが賃上げを実施、対応策として成長分野の拡大を図る ・昨今の物価高、賃上げのしわ寄せは全て下請けの中小が負っている状況なのに、何の対策も取られていない。明らかにコストプッシュインフレの状況になっているのにも関わらず、社会保障費の負担を増やし、緊縮財政を続ける理由が分からない ・世の中全体が、特に食料品の高騰により健康食品は次の考えになっている ・賃上げ去年は出来たが今年が出来ない。 ・原資を継続的に確保できるかが不安。慎重に対応したいと思います
建設業	<ul style="list-style-type: none"> ・利益の減少 ・利益率 相見積もりの増加 ・就労状況の評価について、従来以上に、社員に対して、会社のメッセージを強く打ち出したい ・賃上げをしても物価の上昇が続くとさらに賃上げを求められるのではないかと心配 ・新規物件の見積に附加したいが、全額は無理。企業努力が必要（経費の削減等）
卸売業	<ul style="list-style-type: none"> ・価格転嫁を進めているものの物価高による仕入単価の上昇が止まらず、原資の流出に懸念がある ・売上確保が難しくなっている ・成果主義のため問題ナシ ・賃上げをするための資金の確保が課題であり、業務の効率化とコスト削減、販路拡大など、利益が生み出せる企業体質にすること ・世の中の賃上げブームに対応するものの、限度がある。 賃上げ税制みたいな補助制度や賃上げ実施企業への優遇策等があってもよいのでは？（岩手県や仙台市ではある）
小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・現状維持の売上が好転させる
サービス業	<ul style="list-style-type: none"> ・20代と、40代・50代の賃金の格差 ・現状で地方のタクシーは賃上げ(賃率)で事業継続を不可能にします ・収益の確保難
水産加工業	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい人材を求めようにも、従来の従業員と新しい従業員の賃金格差をどうしようと悩んでいる ・収益への影響

4. 気仙沼市で今後発表予定の、ふるさと納税活用施策「産業パッケージ」について、ご意見、活用方法、要望する支援策等がございましたらご記入ください。

製造業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 気仙沼市にテーマパーク etc ・ 対象となる業種に入ればよいのだが
建設業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て支援や移住者対応等に活用して、市の人口が増える対策に活用いただきたい ・ ○建設業界及び、その関連する業界への政策的な配慮が不足。 ○政策的にもっとストレートに、工事需要を喚起する策が必要。（リフォーム補助の復活や建設商品券等）
卸売業	<ul style="list-style-type: none"> ・ どういう効果が得られるのかよくわからない ・ できれば、地元業者の売上につながるよう支援して欲しい ・ 第一次、第二次、第三次産業が均等に恩恵を受けられる仕組みにしてほしい
小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全市民が活用できるクーポンや割増商品券の発行をお願いしたい。できれば長期間使用出来る様に
サービス業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 若者の流出を止めるため、企業誘致に力を入れてください ・ ○子育て世代も重要ですが、子供は数年後大学、就職と気仙沼を離れますので、人材確保のためにも、新卒者や若年層のUターン、移住定住に向けて、一定の条件を付け、気仙沼市民になり気仙沼市内に本社がある企業に就職した方に、奨学金返済の一部助成などの支援が必要ではないか。 ○気仙沼市内の大きなイベントといえば、みなとまつり、つばきマラソン、産業まつり等があるが、大規模な集客につながるイベントが無いので、全国に向けCMやSNSを活用しながら大規模なイベントを実施する必要があると思います。 来訪者増加で気仙沼市のみならず近隣にも波及し活性化するのではないのでしょうか。 現に、陸前高田市の花火大会見学者の宿泊者が年々増加している ・ 地域公共交通の抜本的な見直し
水産加工業	